

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	骨髄線維症および慢性骨髄単球性白血病に対して移植前治療後に造血幹細胞移植を行った症例の予後予測因子解析		
1. 研究の目的と方法	骨髄線維症および慢性骨髄単球性白血病の根治的治療法として同種造血幹細胞移植が実施されますが、比較的稀な造血器疾患であり予後因子に関する報告は乏しいのが現状です。関東造血幹細胞移植共同研究グループ（KSGCT）多施設共同研究として、二次調査研究を行い、移植後の予後予測因子を明らかにすることを目的としています。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2030 年 9 月 30 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	KSGCT 参加施設で 2014 年 1 月～2023 年 12 月に骨髄線維症および慢性骨髄単球性白血病に対して同種造血幹細胞移植を受けた 16 歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）、移植情報、移植前後の治療内容	
	(4) 情報の取得の方法	KSGCT データベースおよび二次調査による情報収集を行います。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 腫瘍・血液内科講座
		氏名	矢野真吾
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 腫瘍・血液内科講座 横山洋紀	
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	横浜市立大学附属病院 血液・腫瘍内科 医長 立花 崇孝（機関の長：病院長 遠藤 格） 自治医科大学さいたま医療センター 血液科 教授 仲宗根 秀樹（機関の長：センター長 遠藤 俊輔） 千葉市立青葉病院 血液内科 部長 鐘野 勝洋（機関の長：病院長 山本 恭平） 千葉大学病院 血液内科 診療講師 塚本 祥吉（機関の長：病院長 大鳥 精司） 東海大学病院 血液腫瘍内科 講師 町田 真一郎（機関の長：	

		<p>病院長 渡辺 雅彦)</p> <p>東京科学大学病院 血液内科 教授 森 毅彦 (機関の長: 病院長 藤井 靖久)</p> <p>都立駒込病院 血液内科 医長 清水 啓明 (機関の長: 院長 戸井雅和)</p> <p>横浜市立市民病院 血液内科 専攻医 横山 知明希 (機関の長: 病院長 中澤 明尋)</p> <p>横浜市立大学附属市民総合医療センター 血液内科 指導診療医 高山 康輔 (機関の長: 病院長 田村 功一)</p> <p>慶応義塾大学病院 血液内科 准教授 櫻井 政寿 (機関の長: 病院長 福永 興彦)</p>
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	<p>この研究で収集・取得された情報は、患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報情報を削除し、新たに研究用の ID や番号をつけてから、5(1)に記載された研究代表機関のもとに、以下の方法で集められます。</p> <p>提供方法: 追跡可能な方法で共同研究機関から本学へ症例記録用紙を郵送します。</p> <p>情報の利用および提供開始予定: 2025 年 12 月上旬頃～</p>	
【問い合わせ先】	<p>機関名: 東京慈恵会医科大学 腫瘍・血液内科講座</p> <p>研究責任者: 教授 矢野 真吾 (やの しんご)</p> <p>窓口担当者: 助教 横山 洋紀 (よこやま ひろき)</p> <p>電話番号: 03-3433-1111 (内線 3251)</p> <p>対応時間: 平日 09:00 ~ 17:00</p>	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。